



そのさき！！ とのさき通信！！

大好き みやぎ

≪ 討議資料 ≫

発行 // 宮城県議会議員 **とのさき 浩子** (泉区選出) 〒981-3203 仙台市泉区高森 7-33-7

<http://daisukimiyagi.com>

hiroko4783@yahoo.co.jp

とのさき浩子 検索



令和6年の新年度もスタートし、新鮮な気持ちで春をお迎えのことと存じます。能登半島での地震に足元には心からの見舞いを申し上げますとともに、改めて地域の防災力の強化、コミュニティの結束の重要性を感じています。今後持続可能な活動を加速してまいります。何かお気づきの点ございましたらいつでもお知らせ下さい。宮城県議会議員 外崎 浩子

令和6年度当初予算等提出議案



一般会計当初予算の総額は23年度比5.1パーセント減の1兆238億円。歳出は東日本大震災関連が20.9パーセント減の177億円と過去最小だったが、歳入は県税の伸びが順調で4.3パーセント増の3,206億円と過去最高。以下当初予算の一部抜粋。

詳細については、<https://www.pref.miyagi.jp/documents/50705/03jyuutenkoumoku.pdf> をご参照ください。

- ・ **人口減少対策** 自然増にむけた対策 主な取り組みで4.7億円

若い世代への少子化策強化費	50,424千円	不妊治療医療助成費	150,000千円
不妊検査費用助成費	36,100千円	産後ケアサービス受皿確保支援費	54,000千円
子育てと仕事の両立のための多様な働き方支援費	36,410千円	授乳室設置促進費	42,612千円
少子化対策支援市町村交付金	100,000千円		
- ・ **DXによる変革みやぎ** 県民サービスDX 行政DX 産業DX

デジタル身分証アプリを活用した地域周遊促進費	10,000千円	窓口でのキャッシュレス決済の導入費	77,753千円
児童相談所音声マイニングシステム運営費	2,000千円	採点業務デジタル化推進費	40,500千円
デジタル人材採用・育成支援費	38,259千円	DX関連スタートアップ支援費	27,763千円
デジタル田園普及推進費(RTK基地局関連)	13,548千円	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進費	19,230千円
- ・ **半導体関連産業の振興** 半導体産業の立地支援及び更なる誘致に向けて

県内ものづくり企業連携促進費	38,919千円	産学連携推進費(東北大学との連携促進)	50,645千円
対宮城県直接投資促進費(これまでコロナで休止)	11,591千円		

下記の意見書を県議会でも可決をし、国に送付いたしました

- ・生涯を通じた国民皆歯科検診の実現を求める意見書
- ・国の補充的な指示の創設に関する意見書
- ・ライドシェアの導入に対する慎重な検討及び地域公共交通を守る施策の推進を求める意見書
- ・若者のオーバードーズ(過量服薬)防止対策の強化を求める意見書
- ・会計年度任用職員制度の改善とそのための地方財政措置を求める意見書
- ・巨大災害に備える「防災相(仮)」の創設を求める意見書

2月議会を振り返って

令和6年2月議会におきましては、多岐に渡り議論を重ねました。4病院再編問題については県民の皆様から寄せられたご意見にも忠実に、様々な場面で慎重に丁寧に取り組みました。村井知事から「がん治療はもはや政策医療ではない」との発言もあり、改めて宮城県での政策医療の在り方を議論しなければなりません。そして同時に私自身が JICA 勤務時代に宮城県がんセンターにて海外からの研修生の研修監理を行なったことがあり宮城県がんセンターの使命はただ単なる治療ではないことを強く認識しました。

宮城県は国内でも先駆けて、黒川利雄先生が、がんの早期発見、早期治療、そして先進的ながんの研究の「宮城方式」を打ち立てたことを基としてこれまでも実績をあげてきたところです。こうした経緯もあり、今後のセンターの運営、存続は病院収益のみによって変わることができない、真の「政策医療」としての使命があると認識します。今回、議案として提案された新病院の整備費の一部にあたる26億円を基金に積み立てるものは、運営を考える上にも資するものであると考えます。

今回の提案は他の福祉、教育、経済工商、農林水産業、環境、防災なども含む第1号議案であり、これを否決することは県民の皆さんに対する予算執行の遅滞を招くことに他ならず、新年度予算案には「県が関係者への丁寧な説明に努めることや、がん医療が将来にわたって継続されるよう県が責任をもって協議にあたること」との付帯意見をつけた上で、さらに与党会派の仙台市選出県議会議員(会長:石川光次郎議員)で村井知事に要望書を提出。その中にも「政策医療」の文言を入れ、知事にさらに丁寧かつ詳細な説明を行うこと、関係者のさまざまな意見を聴取することなどを盛り込みました。

今後当課題につきましては、引き続き、執行部側の動向に細心の注意を払い、注視して参ります。

令和6年能登半島地震の発生に伴う宮城県の対応等について

4月1日である3ヶ月を迎える、能登半島地震。宮城県からも県職員をはじめとして、各市町村においても職員が派遣されています。現状においては罹災証明の発行や、高齢者など避難所での対応などに多くの方々尽力しています。今後はインフラの整備が進み、派遣職員の職種も変化していくものと思われませんが、1日でも早い復旧復興を願うものです。今後の自然災害に対しては、今回の能登地震に見られるように、いどこで大きな地震が起きても不思議ではありません。どうぞ、皆様も日頃からの備えを行っていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

また、現在石川県では「被災地を応援したい方へ」として、全国に向けて以下の事項を呼び掛けています。

- ・災害ボランティア
- ・ふるさと納税(個人及び企業版)
- ・北陸応援割り「いしかわ応援旅行割」
- ・能登のために石川のために応援消費おねがいプロジェクト 等

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。詳しくは石川県のHPをご覧ください。(https://www.pref.ishikawa.lg.jp/)



林道七ツ森～泉ヶ岳線（泉ヶ岳工区）整備事業

以前より期待が集まっておりました泉ヶ岳より東に伸びる高規格林道の工事が進んでいます。近隣地域においても仙台地方振興事務所の担当職員を招いての住民、関係者の方々への説明会を実施するなど、皆様方へ情報提供を行なっております。今後工事も順調に進むものと思われま。ご期待ください。



R4 工事終点



R5 施工区域

概要：林道「七ツ森湖～泉ヶ岳線」は、七ツ森湖（南川ダム）と泉ヶ岳山麓を結ぶ約 8km の林道です。大和町（吉田字旦ノ原地内）から仙台市（泉区福岡字岳山地内）まで、全線を舗装した 1 車線林道として計画し、令和 10 年度の完成を目指して、林道整備をスタートしました。



目的・効果：

森林整備・木材利用 ～ 林道整備により、これまで道路等がないため利用することが出来なかった森林が利用可能になり、森林整備面積の拡大につながります。

地域活性化への波及 ～ これまでは宮床地区を経由しての往来しかできなかった七ツ森湖（南川ダム）上流域から泉ヶ岳山麓が直接接続されることにより、現在約 30km 程度の移動距離がある二箇所約 8 km でつながり、アクセス時間の短縮に繋がります。

災害時における代替路としての効果 ～ 七ツ森湖（南川ダム）上流域から泉ヶ岳山麓は、それぞれ市道等を通じて別々にアクセスされていますが、両地区が林道を通じて結ばれることで、市道等が被災した場合の代替路・避難路として活用することが可能です。

泉区北中山地間における盛土緊急対策工事

令和 3 年 6 月に宮城県土木部担当課と周辺地域での現状視察後、迅速に緊急対策工事を進めておりました。令和 6 年 3 月にて排水施設などの整備工事、緑化作業などの一切が終了しました。

工事負担額：4 億 2,300 万円（契約見込み額）

請負業者：株式会社 橋本店

内容：地すべり活動抑制するため、地すべり上部の盛土を除去するとともに、雨水が地中に浸透することを防止するため排水施設の整備や緑化を実施施工。



施工前の状況
（令和 4 年 2 月末現在）



現在の状況
（令和 6 年 2 月末現在）

みやぎ女性議員のつどい

この 3 月 みやぎ女性議員の集い、総会、研修会を開催しました。子ども家庭庁より、子ども家庭庁成育局成育基盤企画課 新免寛啓 課長補佐をお迎えし、講話を伺いました。

「異次元の少子化対策」として始まった大きなプロジェクト。国においても

「子ども・子育て支援法」の抜本的な改正をはじめとし「加速化プラン」の予算規模は年額 3.6 兆円で前例にない規模。

3 歳未満まで月 15,000 円、3 歳から高校生まで 10,000 円の児童手当については 1 2 月支給から所得制限の撤廃。現在は中学生までの対象を新たに高校生まで拡大。第 3 子以降の支給額は月 3 万円に倍増。支給回数も年 3 回から年 6 回と増えます。3 人のお子さんのいるご家庭では総額で最大 400 万円増の 1,100 万円となります。こうした子育て世代への支援の他にも出産一時金も 50 万円に引き上がるなど、国民の皆様の実態に則した予算措置が進められます。

こうした国の動きにも関心を払いながら、柔軟に皆様の声をしっかりと県、国に伝えて参ります。



外崎 浩子（とのさき ひろこ）プロフィール

昭和 35 年 6 月 24 日生。出身／大崎市三本木、仙台市に小学校より転居。泉区高森在住。

平成 17 年 10 月仙台市泉区より宮城県議会議員初当選。現在 5 期目。自由民主党宮城県連政務調査会長。第 39 代 宮城県議会 副議長。前 自由民主党・県民会議 会派会長。いずれも女性初。環境工ネルギー議連会長、医療福祉議員連盟 副会長、芸術文化振興議員連盟 会長。経済商工観光委員会委員。

『花咲会』はなさきかい
とのさき浩子後援会にご入会を
お待ちしております。